



今年には東海地方に接近する台風が多く、現場では作業の安全確保、現場保全、資材保管等に気を使われたと思います。幸い、適切な現場管理が行われた結果、台風によるトラブルの報告はありませんでした。

台風の接近に伴い、現場（事務所）では、起り得る環境への影響を考え、評価し、重要性に応じた対策を講じ、台風の接近、通過に備えたことと思います。台風通過後はお客様と連絡を取り、現場を巡回しトラブルが無いかを確認し、必要な対策を取ったことでしょうか。このような一連の行動はISO14001の“4.4.7緊急事態への準備及び対応”に準じた行動と言ってよいでしょう。

私たちの日頃の行動をISO14001に準じて再考してみることで、より、環境問題が見えてくるかも知れません。

本社事務所から外へ出ると甘い香りが構内いっぱいに漂っています。キンモクセイとギンモクセイの香りです。今年は近年になく花数が多く遠目にもはっきりとわかるほど小枝にびっしりとオレンジ色の小さな花をつけています。風の無い穏やかな日は秋を感じさせる香りが構内を満たすことでしょうか。

台風一過、10月末から、朝晩はめっきり涼しくなり、秋本番。スポーツ、読書、食欲...それぞれの秋を満喫し、忙しい、年末に備えましょう。

〈マニュアル〉 4.4.7 緊急事態への準備及び対応

台風接近を緊急事態と考え、マニュアル、手順書に則して行動したことの検証をしてみてもうどうでしょうか？

当社は、環境に影響を与える可能性のある潜在的な緊急事態及び事故を特定するための、またそれらにどのようにして対応するかの手順を緊急事態対応手順書に定める。

- (1) 当社は、顕在した緊急事態や事故に対応し、それらに伴う有害な環境影響が出ないように予防するか、あるいはその有害な環境影響を緩和する。
- (2) 当社は、緊急事態への準備及び対応手順について、通常は内部監査、外部審査等の結果を参考にマネジメントレビューで協議を行う。そして変更を必要とされる場合には、ISO事務局が手順書の改版を行う。また特に事故又は緊急事態の発生の後には、その関係者を含めて、直近のマネジメントレビューで迅速に協議を行う。
- (3) 当社は、訓練が可能なものについて、その手順を定期的にテストする。その実施結果を受けて手順書の見直しが必要かどうかを判断する。これらの情報は緊急事態想定訓練実施報告書に記録される。

《リサイクルとごみ問題》

私たちが家庭で出来る3R 家庭のゴミを出さない工夫

耐久消費財／粗大ごみ



大原則：3R

- リデュース： 廃棄物の発生抑制、製品の長期使用
- リユース： 使用済み製品等の再使用
- リサイクル： 使用済み製品を再資源化
(再資源化のための分別排出)

1. 家電製品や自動車はすぐには買い替えたりせず、可能な限り長く使うこと。
2. 古くなると故障が多くなり新しいものを買った方が安くすむということがある。また、機能性能が最新の製品に比較して劣るといふこともあるだろう。どんなに修理して長く使用してもいずれ、その寿命がつき、ごみとなる。
3. この場合、もう一度原材料へリサイクルし易い材料を使用していたり、リサイクルし易い構造の製品を購入することが肝要（かんよう）。製品のリサイクルの容易さを商品に表示のある製品を優先的に購入（グリーン購入）しよう。
4. さらに、リサイクルされた原材料や再使用された部品を使用した商品を優先的に購入（グリーン購入）することは、結果として廃棄物（ごみ）を削減することになるので積極的に実施しよう。
5. 耐久（たいきゅう）消費財における、リース・レンタルは日本でも事業用としては広く普及している。家庭用の耐久消費財においてもこれを導入し、契約期間が過ぎたらリース・レンタル会社が製品を引き取り、修理・オーバーホールして再度使用に役立てようとするもの。家電製品や自動車は家電リサイクル法が整備されており、法律のルールに従ってリサイクルすることが肝要。

